

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	空家等対策事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	小林 悠人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	計画的な土地利用				
事業の目的	空家等対策を総合的に実施し、市民等の生命や財産に対する被害を防止することにより、安心安全な生活環境を確保するとともに、空家等の利活用による活性化を目的とする。						
事業の概要	空家等対策審議会の実施や特定空家に対する解体費用の補助、空家等情報バンクの利用促進。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	200	7,651	2,743			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	空家等除却費及び空家バンク利用促進補助	件	1	2	5	5
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	空き家等情報バンク利用促進補助金を利用して空家を売買した件数は2件だったが、官民連携により空き家パンフレットを作成し、全戸配布した。今後も継続して事業のPRを図りたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地籍調査事業			事業開始年度	昭和49年度		
担当課	産業経済部 農政課			担当者	鈴木 教史		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	計画的な土地利用				
事業の目的	土地トラブル防止、公正課税、成果の数値情報化による電算管理がされ利便性が向上する。 又、公共事業等の正確な計画策定、災害時等の土地境界の復元等が可能となる。						
事業の概要	負担金交付申請→県・市における実施地区公示→地元説明会→境界立会→一筆地測量→閲覧 →地籍図、地籍簿作成→国への認証請求→認証済地区の地籍図、地籍簿の法務局送付						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	11,011	25,031	25,585			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	地籍調査完了面積	K㎡	65.01	65.09	65.25	65.42
	成果	数値情報化完了面積	K㎡	57.97	57.97	57.97	57.97
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	国土調査法に基づき向河原Ⅱ地区と氏家Ⅵ地区の調査を実施し、向河原Ⅱ地区の後半工程及び氏家Ⅵ地区の前半工程を完了した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	立地適正化計画策定事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	加藤 寛之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	計画的な土地利用				
事業の目的	従来の拡大型の都市構造から集約型の都市構造への転換を図り、都市機能や居住が集約したコンパクトシティの形成を図る。						
事業の概要	都市機能誘導区域や居住誘導区域を定め、都市機能や居住を誘導し、コンパクトな都市構造を形成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	7,700	4,323	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	計画的な土地利用が行われていると感じる市民の割合	%	59.4	55.7	62	62
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和4年度から立地適正化計画の策定に着手し、令和6年度に策定を完了した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	駅広場改修事業			事業開始年度	平成23年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	小林 悠人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	氏家駅東口周辺の利便性向上				
事業の目的	JR氏家駅東口・西口広場の賑わいと潤いある安心安全な空間の形成						
事業の概要	駅東交通広場、駅東交流広場、駅西交通広場の修繕・改修工事、維持管理業務委託を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,132	1,049	1,091			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	修繕・改修・管理した施設数	件	3	3	3	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	環境や景観に配慮した維持管理や修繕を実施したことにより、快適な活気あふれる駅前広場となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家駅東地区魅力向上事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	富田 渉		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	氏家駅東口周辺の利便性向上				
事業の目的	氏家駅東地区は都市の発展を牽引する重要な地区として位置づけられており、ＪＲ氏家駅や駅前商業地としての特性を活かした賑わいや魅力を促進する事業を検討する。						
事業の概要	氏家駅東地区の特徴や課題を踏まえ、住民参画のもと、市の発展と市民や来街者にとって魅力ある街なか形成のまちづくりに寄与する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,575		2,756		2,570	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	氏家駅東口周辺の利便・安全・賑わいに満足している市民の割合	%	32.1	29.2	29	29
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	氏家駅東地区魅力向上まちづくり基本計画（街なか交流軸形成エリア）」の策定に向けて、市議会や関係機関との勉強会を行った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	区画整理事務			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	富田 渉		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	定住・転入の促進				
事業の目的	保留地販売の促進。						
事業の概要	各種広告媒体等によるPR。 販売紹介手数料の支給や販売促進交付金の交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	354	201	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	当該年度に販売した保留地の区画数	区画数	0	0		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和6年度換地処分を行うにあたり、権利関係の移転が生じると事務手続きが複雑になることから、残保留地2区画については一般販売はせずに事業完了とした。 ※ 財政課へ普通財産とし引渡を行なった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	上阿久津台地土地区画整理事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	富田 渉		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	定住・転入の促進				
事業の目的	機能的で魅力ある都市空間の創出。 安全・安心で快適に暮らせる居住環境の形成。						
事業の概要	事業遂行に向けての工事および業務委託、並びに各種補償を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	129,048		48,596		53	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	全体整備率	%	100	100		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和6年度は事業がすべて完了し、換地処分の公告を行った。 引き続き区画整理登記、清算金徴収・交付事務を行う。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	移住推進事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	岩崎 向志		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	定住・転入の促進				
事業の目的	本市への移住定住を推進し、人口増加を目指す。						
事業の概要	・本市への移住定住に関するPR活動やお試し移住事業を実施する。 ・移住支援金の申請を受け付け、該当者に交付金を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,864	5,022	8,294			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	移住定住イベント等における相談件数	件	45	107	110	120
	成果	移住支援金の申請件数（単身世帯含む）	世帯	1	2	3	4
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	・移住定住イベントでの相談件数は、前年度よりも増加して合計45件となった。積極的な声かけや相談ブースの装飾、自治体紹介の資料の見直し等により、より多くの方々へ移住の提案を図ることができた。 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
見直し余地	判定						
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	草川用水環境保全補助事業			事業開始年度	平成 9年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	草川・水と緑の散歩道周辺生活環境の美化を維持するとともに市民や市外の訪問客が同散歩道を利用しやすい環境を作る。						
事業の概要	市が一部景観を整備した草川用水は鬼怒川中部土地改良区連合が管理。その法面の環境保全作業（除草作業）に要する経費の30%を補助金として交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	111		104		180	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	作業実施日数	日	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	散歩道周辺生活環境の保全がなされ、市民や市外の訪問客が同散歩道を利用しやすい環境を維持している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公園施設長寿命化対策事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	亀田 陽司		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	公園施設の長寿命化により安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新を行っていく						
事業の概要	公園施設長寿命化に係る設計業務委託、工事等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	57,126	135,803	14,000			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	公園遊具保守点検施設数	基	477	473	467	467
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	公園施設等長寿命化計画（第1期計画：平成28年度～令和7年度）において予定していた公園施設の改築・更新は概ね完了した。 第1期計画において最も大規模な改築・更新を行う勝山パークブリッジの長寿命化工事につ					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公園等整備事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	亀田 陽司		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	市民の憩いの場として、安全で快適に利用されるよう魅力ある公園を整備する						
事業の概要	公園施設新設、更新に係る設計業務委託、工事等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	26,004	20,542	17,450			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	公園整備工事実施件数	件	2	3	4	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和4年度から3カ年をかけて整備を実施した、勝山公園の桜見本園整備工事が令和6年度をもって完了した。 新たな観光スポットとして、また鬼怒川河川公園から続く散策路として公園の魅力度が一段					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	花と緑の小都市推進事業			事業開始年度	令和 5年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	亀田 陽司		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	04	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	花と緑で彩られたまちづくりを推進することで、あらゆる世代の市民が生涯にわたり生活を 楽しむことができる						
事業の概要	花と緑に関連した市民協働事業等						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,169	9,704	13,242			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標 区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	花育関連事業開催数	回	9	9	10	10
	活動	花育関連事業参加者数	人	305	368	370	370
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	花育事業の計画的な実施により多くの市民が各種講座等に参加し、花と触れ合う機会を設 けることができた。 また、記念樹贈呈、地域緑化花苗配布事業の実施により、地域緑化の推進を図られた。 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	桜の郷づくり事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	亀田 陽司		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	05	桜の郷づくりの推進				
事業の目的	さくら市の資源である「桜」への意識高揚を図り、市民と行政の協働による“桜の郷づくり”を進める。						
事業の概要	市の資源である桜を活かすまちづくりのための桜植栽工事、桜並木の維持管理の実施及び桜守とのクビアカツヤカミキリ防除作業						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	145,603	94,404	80,713			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	市が植栽した桜の植樹数	本	25	61	54	20
	活動	市が実施した桜のクビアカツヤカミキリ防除本数	本	1,031	1,289	1,290	1,290
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	県道佐久山喜連川線の拡幅整備工事と併せて実施をしている、早乙女桜並木再整備工事の西側工区の桜植栽・張芝工事が完了した。 引き続き東側工区の再整備工事を計画的に進める。 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		